旧戦略

(平成13年3月策定)

はじめに

- 1 研究をめぐる動向と今後の研究・技術開発の推進方向
- (1)研究をめぐる動向
- (2) 今後の研究・技術開発の推進方向
- 2 研究・技術開発の重点課題
- (1)森林の多様な機能の発揮に関する研究
- (2)地球規模での森林環境保全に関する研究
- (3)林業による持続的な森林の管理・経営を図る 研究
- (4)循環型社会の形成に寄与する木材産業の体質強化に関する研究
- (5)森林・林業の新たな展開を可能とする新産業の創出に関する研究
- (6)森林・林業・木材産業に係る政策立案に資する研究

- 3 研究・技術開発の推進方策
- (1)問題解決に向けた研究の総合化
- (2)現場及び事業に立脚した研究・技術開発の展開と行政へのフィードバック
- (3) 産学官連携と国際研究協力による効率的推進
- (4)研究成果の効率的活用と国民理解の推進
- (5)研究・技術開発の外部評価

別表 重点課題に関する期別の主要な達成目標

見直しのポイント

森林・林業基本計画を踏まえ、関係機関が連携して、森林・林業・木材産業分野の政策ニーズに応えていくことを明示。

森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発をめぐる情勢の変化を明示。

政策ニーズ等に対応した研究・技術開発が必要な理由・背景等については、新たな戦略では、 「第2 政策ニーズに対応した研究・技術開発の 重点課題」において記述。

新たな戦略においては、

- 〇森林・林業基本計画に対応して、研究・技術 開発に係る重点課題を整理。
- ○早期に取り組むべき課題、中長期的な課題を 明示。
- 〇研究・技術開発が必要とされる理由(背景)について明示。
- 〇研究・技術開発の成果の行政等へのフィード バックの方向性について明示。

研究・技術開発を効率的、効果的に進めるため、必要となる推進体制等について記述。

旧戦略に加え、①知的基盤の整備(研究成果のデータベース化など)、②研究者の倫理(動物実験など)、③遺伝子の適切な管理(カルタヘナ議定書)、などの今日的な課題を明示。

新たな戦略

(平成19年1月策定)

資料1

はじめに

第1 研究・技術開発をめぐる情勢の変化

- 1 第3期の科学技術基本計画の策定
- 2 新たな森林・林業基本計画の策定
- 3 関係する独立行政法人の統合
- 第2 政策ニーズに対応した研究・技術開発の重 点課題
- 1 森林の有する多面的機能の発揮 広葉樹林化等による多様で健全な森林 の管理技術の体系化 等
- 2 林業の持続的かつ健全な発展 施業の集約化を担う森林組合等の林業 事業体の効率的経営モデルの開発 等
- 3 林産物の供給及び利用の確保 バイオエタノール等による木質バイオマ スの総合的利用の推進 等
- *「森林・林業基本計画」の「第3 森林 及び林業に関し、政府が総合的に計画的に 講ずべき施策」に対応した柱立て

第3 研究・技術開発の推進方策

- 1 問題解決に向けた研究の総合化
- 2 現場に立脚した研究・技術開発の展開と現場 及び行政へのフィードバック
- 3 産学官連携と国際研究協力による効率的推進
- 4 研究·技術開発の成果の活用と国民理解の 推進
- 5 研究・技術開発の評価等
- 6 研究・技術開発を担う人材の育成